

子どもを育む新たな地域拠点が生
幌別児童館 落成セレモニー

3/28

3月28日、市は幌別小学校の隣接地に新たに建設した幌別児童館の落成セレモニーを行いました。

この日はセレモニー終了後に内覧会が行われ、新しくなった幌別児童館を満喫する親子の姿が見られました。

同館は、幌別小学校区の常盤児童館・児童クラブと、旧幌別東小学校区の従来の幌別児童館を集約。簡単な調理が可能なミニキッチンなどの新たな設備のほか、子どもたちが伸び伸びと過ごせるよう、なるべく壁を作らないように建設するなど、子どもを健やかに育む拠点として整備しています。



▲落成を記念したテープカットの様子



▲協定締結式の様子

空き家の悩みを官民でお手伝い
(株)クラッソーネと協定を締結

3/26

3月26日、市は空き家所有者と解体工事事業者のマッチングサービスを運営する(株)クラッソーネと『空家等の除却・売買等の促進に係る連携協定』を締結しました。

この協定の締結により同社が提供する土地売却価格や解体費用をAIにより算定できる登別版の『すまいの終活ナビ』が利用できるようになり、空き家の処分について費用などの不安や悩みに分りやすく対応できるようになります。

登別版すまいの終活ナビの利用方法など詳しくは市公式ウェブサイトをご確認ください。



▲テープカットの様子

安心が託される丘へ
登別市消防庁舎開庁式

3/30

3月30日、市消防本部は新たな登別市消防庁舎の開庁式を同庁舎で開催しました。

登別市消防本部と消防署、鷺別支署、消防団本部の機能を集約し、津波浸水想定区域外の高台に建設した庁舎の開庁式では、はじめに小笠原市長の式辞、来賓からの祝辞の後、テープカットを行い、市民の安全と安心を守る庁舎の門出を市内外から参加した約170人の出席者と共に祝いました。

新しい消防庁舎の概要については、広報のほりべつ3月号に掲載しているほか、6月号でも詳しくお知らせします。



パラオの食習慣改善へ
JICA海外協力隊 派遣前表敬訪問

4/2

4月2日、国際協力機構(JICA)の海外協力隊員として、パラオ共和国に2年間派遣される栄養士の加茂静香さんが、派遣前に、市を表敬しました。

加茂さんは高校時代までを市内で過ごし、大学卒業後は礼文町で行政栄養士として勤務。大学時代にフィリピンの低栄養児を目的の当りにしたことをきっかけに、かねてから同隊への参加を志していました。

加茂さんは派遣後、偏った食生活などによる疾病が問題となっているパラオにおいて、現地での栄養指導や食育などを通して、生活習慣の改善に向けて活動する予定です。



▲JICA海外協力隊員の加茂静香さん(手前右側)